



発行所：メディカルサテライト八重洲クリニック
東京都中央区八重洲 1-5-9 八重洲アメレックスビル9F



0120-786-055
TEL03-3516-8020 FAX03-3516-8022

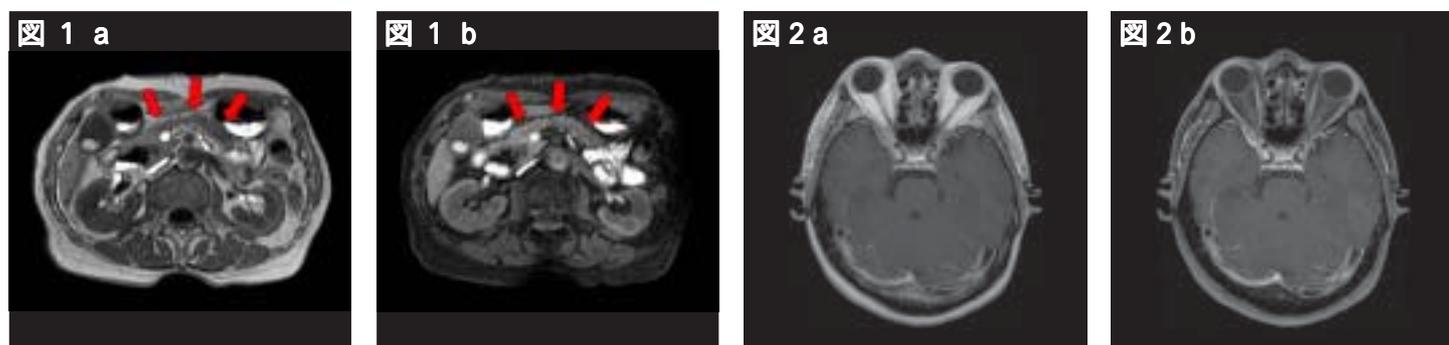
『MRI 脂肪抑制撮影法の有用性』

CT およびMR における画像コントラストは、白黒の濃淡で表示されます。

CT における画像コントラストはCT 値(空気: -1000 ~ 骨:+1000)に依存し、脂肪の信号はCT 値100 ~ 150 程度で低信号(グレー)に描出されます。

MR における画像コントラストは、TE およびTR を代表とする撮像パラメータによってそのコントラストが変化します。代表的な例ではT1 強調画像では水は低信号(黒)、T2 強調画像では高信号(白)に描出されています。

一方、脂肪信号は、信号強度の強弱はあるものの、T1 強調、T2 強調の両方で高信号(白)として描出されるのが一般的です。しかし、検査目的部位の周囲に脂肪の多い場合、または造影後の画像では、病変部や造影剤による染まりを判別するのに、脂肪信号が妨げとなる場合があります。このような場合には、脂肪抑制法という技術を用い画像中の脂肪の信号のみを低下させることで、目的部位の描出能向上や造影効果をより正確に判断することが可能となり、診断能を向上させることができます。図1 に示すように、膵臓では脂肪抑制を行うことで臓器の形態的把握が容易となります。



また、脂肪抑制を用いた眼窩周囲の検査では、視神経周囲の診断に有用です(図2)。

- 図1 a 腹部(膵臓レベル)T1 強調画像(赤矢印)
- 図1 b 腹部(膵臓レベル)T1 強調脂肪抑制画像(赤矢印)
- 図2 a 眼窩領域T1 強調画像
- 図2 b 眼窩領域T1 強調脂肪抑制画像

(診療放射線技師：奥秋知幸)

『お盆も、休まず検査をいたします!』

暑い夏がやって参りました。当院では、昨年同様、お盆も休まずに頑張って参ります。ご依頼いただいた検査結果のお届けがスムーズに行えますよう、**貴院に夏期休診日をお聞きすることがございますが、何卒、ご協力の程をお願い申し上げます。**

(事務長 磯谷智)

『次回講演会は、9月16日(木)に決定いたしました。』

毎回、多数のお申し込みをいただいております、当クリニック主催の講演会を、今回は、講師に日大医学部教授の押田先生をお迎えし、下記のような日程で開催する運びとなりました。今回は、臨床におけるインフォームドコンセントに焦点をあてた内容でご講演いただく予定です。内容の濃い講演にするため準備をいたしております。是非ご参加くださいますようお願いいたします。詳細は追ってお知らせいたしますので、ご期待ください。

記

日 時：2004年9月16日(木) 19:00～20:45
場 所：東京八重洲ホールB2 ホール
講 師：日大医学部教授 押田 先生
演 題：『インフォームドコンセントと法的責任について』

(院長 茅野文利)

『検査依頼をされた場合のレセプトの書き方について』

いつも検査をご依頼いただきましてありがとうございます。今回は、いままでに当院に寄せられた質問のうち、レセプトの書き方についてご説明させていただきます。この他にもご質問がございましたらお気軽にお問合せくださいますようお願い申し上げます。

診療情報提供料の算定

検査のご依頼をされた場合(注A)には、診療情報提供料220点(レセプト記載要領-)を算定することができます。

診療情報提供料は月に1度しか算定できませんので、同月内の再検査の場合にはご注意ください。

(注A)

検査依頼票(診療情報提供書)にご記入いただき、送付(FAX可)いただくことが要件となります。

再診の場合の再診料の算定

当院での検査結果は、先生から患者様にご説明をいただくこととなります。この場合、患者様の来院時に再診料の73点(レセプト記載要領-)が算定できます。

(事務長代理 福島加代子)